



平成19年8月 食堂南側にオープンテラスを設置しました。

校友会報

Contents

- ② 校友インタビュー
- ④ 研究室より 社会福祉学部 一瀬 貴子 准教授
- ⑤ 部・サークル紹介
- ⑥ 校友ネットワーク
- ⑧ 平成18年度事業報告・収支決算
平成19年度事業計画・収支予算
- ⑨ 校友会会則
- ⑩ 投稿「私と仕事」
- ⑫ 校友会ニュース



Sports



3部優勝・2部昇格の
快挙達成!!

硬式野球部

私たち硬式野球部は現在部員数40名で週6日の練習に励んでいます。発足して以来、「3部優勝・2部昇格」という目標を長年にわたって引き継いできました。そして今年度の春季大会3部リーグにて優勝を果たし、また開学以来初の阪神大学野球連盟2部リーグ昇格を果たしました。このような快挙を成し遂げられたのはチームメイトの努力もさることながら、OBの方や学校関係者のご支援、球場を貸していただいている地

域の方々などのご協力があるからこそ感謝しています。野球は技術の強いチームが勝つとは限りません。最後まで諦めずにチーム一丸となった戦い、先にある勝利というものを見ず、今自分ができることを精一杯することによって結果として勝利がついてくるのだと思います。社会に出てからも協調性を持ち、諦めない姿勢を忘れることなく社会人として励んでいきたいと思えます。このチームで優勝・2部昇格できたことを私は誇りに思います。

社会福祉学部(4年次生)

吉本 圭吾さん

関西福祉大
(10試合・8勝・2敗・0分・勝ち点4・勝率7.27)

月日	対戦	球場
4/ 3(火)	関西福祉大 7-0 兵庫大	寝屋川公園野球場
4/ 4(木)	関西福祉大 20-0 兵庫大	寝屋川公園野球場
4/14(土)	関西福祉大 4-2 神戸国際大	大阪電気通信大学G
4/15(日)	関西福祉大 4-0 神戸国際大	大阪電気通信大学G
4/24(火)	関西福祉大 12-1 神戸大海事学部	寝屋川公園野球場
5/ 4(金)	関西福祉大 3-5 大阪経法大	大阪電気通信大学G
5/ 5(土)	関西福祉大 5-7 大阪経法大	大阪電気通信大学G
5/11(金)	関西福祉大 24-0 神戸大海事学部	寝屋川公園野球場
5/14(月)	関西福祉大 6-4 大阪電気通信大	寝屋川公園野球場
5/15(火)	関西福祉大 6-2 大阪電気通信大	寝屋川公園野球場

Culture

茶道部

校友会館和室にて
茶道部として活動中

私たち茶道部は、女子15名で現在は毎月1回程度活動しています。先輩方がお茶研究サークルとして発足され、昨年の秋に完成した校友会館に茶道のお点前ができる和室と茶道具を常設していただき、本格的に茶道に取り組みたく思い今年度より「茶道部」と名称を変更することとなりました。

活動内容は、季節にあったお点前やおいしい和菓子や抹茶をいただくとともに、箸の持ち方や襖の閉め方、お辞儀の仕方、歩き方など礼儀作法の練習をしています。

今年度の後期より、赤穂市内の裏千家茶道の先生のご好意によりボランティアで茶道を教えていただけることになり、部活動を通じて裏千家茶道の資格が取得できるようになります。部員一同、後期から茶道の先生にご指導いただくことを心から楽しみにしているとともに裏千家茶道の資格取得を目指し協力して頑張ろうと思っています。今回の汐風祭では地域の方が毎年



出されているお茶席の手伝いをさせていただく予定です。一期一会(人との出会いを大切にしようという茶道の心得)のおもてなしを心がけたいと思います。

現在は学内の活動が中心ですが、今後は学外での茶道を通じたボランティア活動や研修などにも参加したいと思っています。

茶道部は様々な方々に支えられ一歩ずつですが徐々に成長しています。先輩方、汐風祭や部活動など気軽に大学に遊びに来てください。お待ちしております。

社会福祉学部(5年次生)

福島 由子さん



研究室より

from Laboratory

介護現場におけるバーンアウトを
予防する秘訣とは?

～職業的アイデンティティを確立することの重要性～

社会福祉学部 一瀬 貴子 准教授

いっせ たかこ

現代は、環境の激変、多様な社会価値、大量の情報によってアイデンティティの方向性を一つに維持することが困難な時代であり、現代人にとってストレスフルな社会であるといえる。そのなかで、自分にあった職業選択をし、職場ストレスを乗り切り、心の健康管理が出来るか否かも、現代人にとって大きな課題となっている。

平成19年8月21日の朝日新聞で、財団法人介護労働安定センターの調査により、介護労働者の約4割が現在の賃金に不満を感じており、1年間で2割以上の職員が離職するなど、介護現場の疲弊している実態が浮き彫りになったことが報告されている。4分の1の事業所で1年以内に辞める職員が30%以上にのぼり、平均勤続年数は1年以上3年未満が37.5%で最多であるとのことである。本学を卒業後、介護職員として活躍している卒業生も多いであろうが、介護現場におけるバーンアウトを予防するための秘訣とは一体何であろうか。

Eriksonは、アイデンティティを自己の斉一性、時間的な連続性と一貫性、帰属性の3側面から説明し、自律的な自我の働きによって社会に適応しながら自己の実存的存在意味を獲得していく自己概念の総体であると定義した。職業的アイデンティティは、アイデンティティ概念の中で、特に職業についての自己の位置づけをさしている。職業的アイデンティティとは、①職業のイデオロギー、②職業に対するコミットメント、③職業人としての自分の所属組織に対するコミットメント、④社会における自分の職業的地位に対する認識といったように、職業的役割との自己一体意識のことをさす。職業的アイデンティティが崩れてしまうとアイデンティティ・クライシスに陥り、自己の職業的役割意識が曖昧となってしまう自信を喪失したり、過剰な職業的理念を抱いてバーンアウトしてしまう事態となってしまうからである。

それでは、職業的アイデンティティを確立するためには、どうしたらよいのか。職業的アイデンティティの確立に影響を及ぼす要因は、志望動機、実習教育での体験、卒後のキャリア発達、社会的環境など様々である。

その中でもっとも重要なのは、「自分の仕事のどこに専門性があるのか」ということを内面化できているか否かである。

E.グリーンウッドは、ソーシャルワークの専門性を次のように述べている。第一に、具体的な援助場面の中で行われる援助実践が、科学的な体系理論に基づいて行われることである。第二に、体系理論から得られる知識が専門的権威の基礎となるが、だからといって援助職は心理的優位性を抑制し、クライアントと対等関係に自分をおくことである。第三に、職業的役割に基づく倫理的な行動を強制する規範綱領に基づいて行動することである。第四に、職業的役割の専門性について職能団体が自己研鑽を積み、それを取り巻くコミュニティの承認を得ることである。介護職が専門職であるゆえんは、身体的ケアなどの作業レベルにとどまらずに、「自立支援介護能力(クライアントの主体性を引き出し、自己実現をケアによって見届けること)」や「医療職と適切に連携できる能力」や「医学的知識に基づいた観察・ケアプラン立案力」や「科学的技術に裏付けられた介護実践力」の習得が要件となるからである。

自らの目指す職種の専門性を内面化し、職業的アイデンティティを確立することこそが、職場ストレスを乗り切るコツであり、職業的役割遂行を通して自己の実存的存在意味を見出す鍵となる。高い福祉志望動機を持って介護職を選択した本学の卒業生が、自らの健康を保ちながら活躍し、さらなる飛躍を遂げられることを願ってやまない。



主な担当科目
家族福祉論
介護概論

一瀬 貴子 准教授

日々成長を 目指して



成川 佳代子さん
2005年度卒業

社会福祉法人関西中央福祉会
生活介護 ポレボレクラブ
生活支援員

私は知的障害者の生活介護施設で支援員として働いています。主として私が働いているのは、障害区分5、6の利用者さんが30名程度生活しているところです。ここで生活している利用者さんは私たちが普段コミュニケーションの手段として使っている「言語」での会話はほとんどありません。「非言語」的なコミュニケーションがほとんどを占めています。利用者さんそれぞれによってコミュニケーションのとり方は様々です。利用者さんが私たち職員に対してどのようなことを要求しているのか、初めは全く理解することができず利用者さんを混乱させてしまうことが多々ありました。そのような場面に遭遇する度に職場の上司や先輩、同期に相談し、意見交換を行い、そこからどのようにするのがその利用者さんにとって一番良い方法なのかを見つけて出し、利用者さんと関わるようにしてきました。わたしはどんなことでも全力でぶつかっていくタイプなので、怒るときは本気で怒り、誉めるときは全身で誉めるようにしています。

休日は職場の先輩や同期と食事に出かけたり、友達と遊びに行ったり、一人で買い物に出かけたりして過ごしています。家においても部屋の掃除をしたり家事を手伝ったりしてなるべく身体を動かすようにしています。ストレス発散と言えば大げさかもしれませんが、休日はおもいっきり充実した日々を過ごすことによって「明日も仕事を頑張ろうっ」という気持ちになるような気がします。

この職場で働いて1年以上経ちましたが、まだまだ新しい発見の連続です。これからも今まで以上に先輩職員の良い部分を吸収し、それを自分のものにして日々成長していければと思っています。

今までの経験を活かし、 新たな挑戦の場として



中島 慎吾さん
2002年度卒業

株式会社ニチイ学館
PFI事業部 PFI推進課

「株式会社ニチイ学館」に入社して5年が経とうとしています。

入社時は支店の営業課に配属され、お客様である医療機関・施設への訪問営業を中心に営業活動を行ってまいりました。また、私が営業担当として任されていた医療機関に入り、医療現場で実際に医療事務業務を経験させていただいたため、医療機関・医療現場を多方面から理解でき、その経験は営業としてお客様一人ひとりのニーズにあった提案を行っていく営業活動へと繋がりました。

現在では、自治体病院におけるPFI事業に関わる部署で新しい病院の運営提案に携わっています。

PFIとは「Private Finance Initiative: プライベート・ファイナンス・イニシアティブ」といい、公共施設等の設計、建設、維持管理、運営等を民間の資金・経営能力を活用してある一定期間(通常20〜30年)管理・運営する新しい公共事業の形です。

PFI事業は新しい病院を一から作り上げることが多く、今まで以上に経験、知識が必要とされる仕事です。現在まで私が医療現場、営業として経験してきたことを活かし、またPFI事業を行っていく中で経験、知識を吸収していきたいと考えています。PFI事業は会社にとって私にとって新たな挑戦の場であると考えています。

笑顔で接することを 忘れないように



長田 梨果さん
2002年度卒業

医療法人北斗会
精神障害者通所授産施設 ロータースアート
精神保健福祉士

「医療法人北斗会」に入職し、5年目になります。現在は、法人内にある授産施設に勤務しています。授産施設では就労支援を行っており、異動になった時は社会人としてまだまだ未熟な私に就労支援なんてできるのだろうかとても不安に思っていました。利用者さんと一緒に作業をしていると、仕事をすればいいからこれくらいはできるというおかないといけないという部分が見えてくるようになりました。例えば、「報告する」ということは仕事をしていく上ではとても大事なことです。利用者さんの中にはこちらが指示した作業が終わっても、何も言わずに立ったままの方がよくおられます。そういう時は、指示された仕事が終わったら報告をしなければいけないということ、なぜ報告が必要なのかということを説明し覚えてもらいます。そして少しずつでも、できなかったことができるようになっていくのを見ると、とても嬉しく感じます。

しかし、授産施設で訓練をしても必ず就職できるわけではなく、実際に就職できる利用者さんはほんの「握りです」。自分の仕事を利用者さんの人生を「仕事をする人生」として「人生」に左右してしまうことがあるんだと思うと、その責任の重さにつらくなったり、無力さを痛感することが何度もありますが、頑張っておられる利用者さんに負けなように日々自分を奮起させています。そして、どんなにしんどくても忙しくても、笑顔で接することは忘れないようにし、利用者さんにとって親しみやすく、話しかけやすいPSWであり続けたいと思います。

人との出会いと つながり



藤正 祐子さん
2000年度卒業

社会福祉法人神戸市社会福祉協議会
北在宅福祉センター 地域包括支援センター
社会福祉士

早いもので大学を卒業し、働き始めてから7年目に入ろうとしています。現在、私は地域包括支援センターの社会福祉士として担当地域のコミュニティづくりや総合相談支援、権利擁護支援、予防プランの作成と仕事に追われています。忙しい中で思うことは、人との出会いとつながりの大切さです。

7年前、私は見守り推進員として当時の在宅介護支援センターで働き始めました。見守り推進事業とは神戸市独自の事業でひとり暮らし高齢者の見守りができる地域ネットワークを民生委員など地域関係者とともに作るというものです。ちょうど卒業した年の平成13年から始まった新しい事業で、新社会人の私で務まるだろうかと不安でした。仕事が始まり、まず地区民生委員協議会に挨拶をするため定例会に参加した私はとても緊張していました。すると民生委員さんのお一人が「今、大学で福祉を勉強しているのよ」と声を掛けて下さり、よく聞くとその方は関西福祉大学に通っているとおっしゃるではありませんか。民生委員として働き、福祉について勉強したいと思われ大学に入りなおされたそうです。新米の私にとってその方の存在はとても心強く感じました。

人との出会いはもちろん大学に限ったことではなく、例えば、困難事例への対応でも人とのつながりが問題解決の糸口になることがあります。普段から人とのつながりがあり、お互いに気にかけていると問題の早期発見にもなります。自分ひとりの力に限界はありますが人とのつながりが地域や自分を支えてくれる、また人との出会いが私を力づけ、成長させてくれると日々感じています。

社会人5年目の自分



池田 浩隆さん
2002年度卒業

社会福祉法人堺埠福祉会
特別養護老人ホーム遊づる
ケアスタッフ

私は大学を卒業後、福祉業界に限らず視野を広げるために民間企業で2年勤め、今現在は転職し、本来希望であった特別養護老人ホームのデイサービス部門に勤務しています。

主な仕事内容は利用者の送迎、介助、相談業務、給付管理等があります。民間企業に勤務していた頃は営業職をしていたので売上を常に意識して仕事をしていました。今ではそれにプラスして利用者の安全安心を第一に考え、喜んで頂けるようなサービスを提供するために日々努力しています。利用者の方に接して一番難しく思うことは、人それぞれの価値観の違いです。喜んで頂けると思ったことが実際そうではないことも多々ありました。利用者の満足度を上げるためには、価値観の違いなどを知った上できめ細やかな気配り、目配りが必要だと感じます。

現在、介護保険の改正により業界全体としては厳しい状況です。利用者から選ばれる施設やサービスにするには、そこで働く人自身に魅力があるかどうかだと思います。福祉分野から去っていく人も多し、私たち福祉にかかわる者が自分自身の意識を高めて仕事をしていかなければならないと思います。私も魅力ある人として選ばれるように、今後も常に目的意識を持って仕事に取り組んでいきたいと思っています。

「p.s. 山下ゼミです。元気です！」
藤原くん、結婚おめでと!!!」

ひとつのハードルを 乗り越えた後は、 更なる高みを目指して



藤原 広樹さん
2002年度卒業

社会福祉法人明石恵泉福祉会
恵泉特別養護老人ホーム
第1特別養護老人ホーム恵泉
介護リーダー

私は、現在、特別養護老人ホームにて介護の仕事をしています。関西福祉大学を卒業して4年半ほど経ちましたが、同じ施設で仕事をしています。何事も長続きしない私が、同じ所で働き続けられるとは、卒業した時には想像もしていませんでした(そもそも想像さえしていないのですから)。

同じ職場で5年目ともなると、名簿の中の名前の順番が上がっていき、それに伴い責任も重くなっていきます。そして何よりも、一つハードルをクリアするたびに、次のステップを見つけなければならぬのが大変です。学生時代と違って、誰も課題を出してこないのですから。

しかしながら振り返ってみれば卒業してからの4年半が経つのもあっという間でした。毎日(特に1年の頃は)、講義を受けに大学に通っていたのが昨日のこのようです。でも体は確実に衰えていっているのが骨身にしみみます。

大学で学んだことを、仕事に生かすチャンスは今か今かと、待っているのですがなかなか巡ってきません……。皆さんはどうですか？

さあ、筆ものつてきたところで、今から私の活躍ぶりを皆さんにご披露しようと思っていたのですが、残念ながら、またの機会にでも……。

最後に山下ゼミのみな、元気ですか？

第一章 総則

(名称) 第一条 本会は、関西福祉大学校友会と称する。

(事務所) 第二条 本会の事務所を、赤穂市新田三八〇二関西福祉大学内におく。

(目的) 第三条 本会は会員相互の親睦・扶助を図り、教養の向上に努めるとともに、母校の発展を援助し、社会に寄与することを目的とする。

(事業) 第四条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

(一) 会報及び会員名簿の発行
(二) 会員の懇親及び交流
(三) 講演会、研究会等の開催
(四) 母校の発展に寄与する事業
(五) 種々の社会奉仕の事業
(六) その他の必要事業

第二章 会員

(会員) 第五条 本会の会員の種類及び資格は次のとおりとする。
(一) 正会員 本学を卒業した者。
(二) 准会員 本学の在学学生。
(三) 特別会員 本学の現旧専任教職員。
ただし、旧専任教職員は会費十二万円を全納した者に限る。

(賛助会員) 第六条 本会の目的に賛同する者で、理事会が承認した者。特別会員を除く旧専任教職員。
ただし、在職中に一万円以上の会費を納入した者。研究生、科目等履修生などが希望するときは、理事会の承認を得て正会員または賛助会員になることができる。
(資格喪失) 第七条 本会の名簿をけがした者または本会の目的に反する行為を行なった者は、理事会の決定により除名されることとなる。

第三章 役員

(役員) 第八条 本会に次の役員を置く。
一 本部役員
(一) 正会長 一名
(二) 副会長 一名
(三) 理事 十五名以内
(四) 幹事 各卒業年次毎に六名以内及び会長の指名した者六名
(五) 顧問 若十名
(六) 会計監事 二名
二 支部役員
(一) 支部長 各支部一名
(役員) 第九条 役員は次による。
第八十条 役員は理事の互選による。
(一) 会長は理事の互選による。
(二) 副会長は、理事の中から会長が委嘱する。
(三) 理事は幹事の中から選出された者とする。

(役員) 第十条 役員は任期は三年とし、再任を妨げない。
第十一條 役員は、前任期の残任期とする。その責任を免れるものではない。
第十二條 総会は毎年一回年度初めにこれを開く。ただし、会長が必要と認めるときは、幹事の議決があったとき及び会員総数の五分の一以上から会議の目的事項を示して請求があったときは、臨時総会を開く。

第四章 会議

(会議) 第十三條 本会に次の会議を置く。
(一) 総会
(二) 理事会
(三) 幹事会
(四) 評議会
(五) 会計監事
第十四條 総会は毎年一回年度初めにこれを開く。ただし、会長が必要と認めるときは、幹事の議決があったとき及び会員総数の五分の一以上から会議の目的事項を示して請求があったときは、臨時総会を開く。可同数のときは議長がこれを決する。

(役員) 第十五條 役員は任期は三年とし、再任を妨げない。
第十六條 役員は、前任期の残任期とする。その責任を免れるものではない。
第十七條 総会は毎年一回年度初めにこれを開く。ただし、会長が必要と認めるときは、幹事の議決があったとき及び会員総数の五分の一以上から会議の目的事項を示して請求があったときは、臨時総会を開く。可同数のときは議長がこれを決する。

(役員) 第十八條 役員は任期は三年とし、再任を妨げない。
第十九條 役員は、前任期の残任期とする。その責任を免れるものではない。
第二十條 総会は毎年一回年度初めにこれを開く。ただし、会長が必要と認めるときは、幹事の議決があったとき及び会員総数の五分の一以上から会議の目的事項を示して請求があったときは、臨時総会を開く。可同数のときは議長がこれを決する。

第五章 事務局

(事務局) 第二十一條 校友会事務局は関西福祉大学内に置く。
第二十二條 校友会事務局は、理事が別に定める。
第二十三條 校友会事務局は、理事が別に定める。
第二十四條 校友会事務局は、理事が別に定める。
第二十五條 校友会事務局は、理事が別に定める。

第六章 会計

(経費) 第二十六條 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもつてこれに当てる。
第二十七條 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもつてこれに当てる。
第二十八條 正会員の会費は終身会費十二万円とし、在学中、特別会員の会費は総額十二万円とし、在職中毎年度会費一万円を納入する。ただし、会費総額(十二万円)に達する前に退職した者については、第五案により賛助会員として継続することができる。
第二十九條 賛助会員(第五案第四項I)の会費は、入会時に一万円を納入する。その他、理事会及び幹事会において臨時に会費の徴収が必要と認められた場合は、その都度必要額を徴収する。

(会計) 第三十條 本会の会計年度は、毎年四月一日始まり、翌年三月三十一日に終わる。
第三十一條 本会の収支決算及び財産は、会計監事を経て総会に報告し、承認をなければならない。

第七章 支部

(支部) 第三十二條 支部は、都道府県単位に支部をおくこととする。ただし、会員数の多い都道府県は若干の支部に分けることができる。
第三十三條 支部は、原則として当該都道府県に居住する会員をもって構成員とする。
第三十四條 支部長は支部員以外から選出する。任期は二年とする。支部長は支部を班に細分し、班長をおくことができる。
第三十五條 支部長会議は一年に一回以上開くこととする。

(支部) 第三十六條 支部は、都道府県単位に支部をおくこととする。ただし、会員数の多い都道府県は若干の支部に分けることができる。
第三十七條 支部は、原則として当該都道府県に居住する会員をもって構成員とする。
第三十八條 支部長は支部員以外から選出する。任期は二年とする。支部長は支部を班に細分し、班長をおくことができる。
第三十九條 支部長会議は一年に一回以上開くこととする。

(支部) 第四十條 支部は、都道府県単位に支部をおくこととする。ただし、会員数の多い都道府県は若干の支部に分けることができる。
第四十一條 支部は、原則として当該都道府県に居住する会員をもって構成員とする。
第四十二條 支部長は支部員以外から選出する。任期は二年とする。支部長は支部を班に細分し、班長をおくことができる。
第四十三條 支部長会議は一年に一回以上開くこととする。

附則

一 この会則は、総会の議決を経なければ改廃することとなる。
二 この会則は平成十二年四月一日より施行する。
三 本会設立時から当分の間の会長は、第八案の規定にかかわらず関西福祉大学の学長とする。
四 本会設立時から当分の間の幹事及び理事は、第八案の規定にかかわらず関西福祉大学校友会の会長が指名した者とする。
五 この改正後の会則は平成十五年七月二十八日から適用する。
六 この改正後の会則は平成十六年十月二十四日から適用する。
七 この改正後の会則は平成十八年十月二十八日から適用する。

平成19年6月2日(土)、平成19年度関西福祉大学校友会第1回理事会および幹事会が開催され、平成19年度事業計画および収支予算について協議、決定されました。

平成19年度事業計画

1 会務
(1) 総会 1回開催予定
10月、汐風祭時
(2) 理事会 3回開催予定
事業計画、当初予算、事業報告、決算等
(3) 幹事会 3回開催予定
事業計画、当初予算、事業報告、決算等
(4) その他
各種委員会が必要に応じて開催する。

2 正会員に対する活動
(1) 名簿の発行
当該年卒業生の住所録として発行
(2) 会報の発行
年2回発行
(3) ホームページの更新
(4) 支部の設置検討等会員相互の交流促進
(5) 個別校友会に対する助成活動
(6) ホームカミングデー

3 母校、在学生に対する支援
(1) 大学祭、課外活動団体に対する助成
(2) 大学の事業・行事への協賛
(3) 学章・校友会員章贈呈等
(4) 奨学金制度の運営

4 校友会館および事務局の整備
備品、消耗品等の購入

5 その他
(1) 会員の慶弔および親睦、見舞い、弔電、供花等および懇親会
(2) 研究活動 研究会開催支援等
(3) 中・長期的課題 次期事業計画
(4) 他大学からの情報収集活動
(5) 卒業後の会員の動向調査について
(6) その他

1. 収入の部 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

科目	本年度予算	前年度予算	増減	備考
1. 会費収入	41,490,000	38,860,000	2,630,000	○平成19年度収入額 ・在学生 1,344名 社会福祉学部(1年 277名, 2年 266名, 3年 348名, 4年 273名) 看護学部(1年 55名, 2年 85名) 1,344名×30,000円=40,320,000円 ・編入生 8名 社会福祉学部3年 4名, 4年 4名 8名×60,000円=480,000円 ・教職員 69名 69名×10,000円=690,000円
2. 前年度繰越金	47,680,461	42,544,204	5,136,257	
3. 雑収入	0	0	0	
(1) 受取利息	(0)	(0)	(0)	中国銀行 赤穂支店 普通定期預金
合計	89,170,461	81,404,204	7,766,257	

2. 支出の部

科目	本年度予算	前年度予算	増減	備考
1. 事務費	7,850,000	6,250,000	1,600,000	
(1) 人件費	(3,700,000)	(2,200,000)	(1,500,000)	事務局職員人件費(非常勤・契約事務職員)
(2) 消耗品費	(200,000)	(200,000)	(0)	事務用品等
(3) 旅費交通費	(500,000)	(500,000)	(0)	理事会・幹事会等役員出張費他
(4) 印刷製本費	(1,500,000)	(1,500,000)	(0)	校友会資料印刷、名簿(年報2回)作成等
(5) 諸会費	(50,000)	(50,000)	(0)	セミナー受講料
(6) 報酬手数料	(0)	(0)	(0)	
(7) 新聞雑誌費	(50,000)	(50,000)	(0)	書籍
(8) 通信費	(900,000)	(800,000)	(100,000)	校友会資料、会報、名簿等送付料
(9) 会議費	(200,000)	(200,000)	(0)	理事会・幹事会等会議費用
(10) 渉外費	(100,000)	(100,000)	(0)	他大学等調査経費・粗品・謝礼
(11) 備品費	(500,000)	(500,000)	(0)	備品購入等(パソコン等)
(12) 慶弔費	(50,000)	(50,000)	(0)	校友会員見舞金
(13) 雑費	(100,000)	(100,000)	(0)	振込手数料
2. 事業費	5,000,000	7,000,000	△2,000,000	奨学金、ホームページ更新、各種校友会活動等、各種助成(大学祭、課外活動、個別校友会等)、ホームカミングデー、大学の行事業の協賛、広報活動、研究会開催等
3. 予備費	30,000,000	30,000,000	0	[内訳] 18年度10周年等記念事業執行予定(10,000,000円) 事務費、事業費の予備費(20,000,000円)
4. 校友会館建設積立金	0	30,000,000	△30,000,000	
5. 次年度繰越金	46,320,461	8,154,204	38,166,257	
合計	89,170,461	81,404,204	7,766,257	

3. 各種積立金

積立年度	校友会館建設積立金	開学10周年記念事業積立金
平成19年度	0円	0円
合計	0円	0円

平成19年6月2日(土)、平成19年度関西福祉大学校友会第1回理事会および幹事会が開催され、平成18年度事業報告および収支決算について報告、承認されました。

平成18年度事業報告

1 会務
(1) 総会
第1回 平成18年10月28日(土)
平成17年度事業報告、平成17年度収支決算・会計監査報告
平成18年度事業計画、平成18年度支補正予算
個人情報保護方針・規程、会則の一部改正、校友会館使用規程
校友会館設置経費、新役員紹介及び役員改選結果報告
(2) 理事会・幹事会
第1回 平成18年6月25日(日)
平成17年度事業報告、平成17年度収支決算・会計監査報告、校友会会報第8号、個人情報保護規程、校友会館の建設計画、開学10周年・看護学部開設記念事業等、新役員紹介及び役員改選結果報告
第2回 平成18年10月28日(土)
総会提出議案について、校友会会報第9号、会則の一部改正
校友会館使用規程、校友会館設置経費
(3) その他
事業計画プロジェクト会議
平成18年6月25日(日)

2 正会員に対する活動
(1) 名簿の発行
当該年卒業生の住所録として発行
(2) 会報の発行
年2回発行
(3) ホームページの更新
(4) 支部設置の検討
(5) ホームカミングデー

3 母校、在学生に対する支援
(1) 大学祭イベントへの景品寄贈
(2) 課外活動団体に対する助成(剣道部)
(3) プラズマテレビ寄贈(看護学部開設記念)
(4) 大学事業・行事への協賛(開学10年・看護学部開設記念事業)
(5) 学章・校友会員章贈呈
(6) 奨学金制度の給付、運営

4 校友会館および事務局の整備
備品、消耗品等の購入

5 校友会館建設費

1. 収入の部 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

科目	予算	決算	増減	備考
1. 会費収入	38,860,000	38,920,000	60,000	○平成18年度収入 ・在学生 1,254名×30,000円=37,620,000円 ・編入生 11名×60,000円=660,000円 ・教職員 58名×10,000円=580,000円 ・OB(校友会費未納者)1名×60,000円=60,000円
2. 前年度繰越金	42,544,204	52,544,204	10,000,000	
3. 寄付金収入	0	0	0	
4. 雑収入	0	20,214	20,214	○中国銀行 赤穂支店 普通定期預金
(1) 受取利息	(0)	(20,214)	(20,214)	
(2) 雑収入	(0)	(0)	0	
合計	81,404,204	91,484,418	10,080,214	

2. 支出の部

科目	予算	決算	増減	備考
1. 事務費	6,250,000	4,148,332	△2,101,668	
(1) 人件費	(2,200,000)	(1,951,629)	(△248,371)	職員人件費
(2) 消耗品費	(200,000)	(149,410)	(△50,590)	事務用品等
(3) 旅費交通費	(500,000)	(232,928)	(△267,072)	理事会、幹事会等旅費
(4) 印刷製本費	(1,500,000)	(1,184,417)	(△315,583)	名簿、会報作成費等
(5) 諸会費	(50,000)	(7,500)	(△42,500)	セミナー受講料
(6) 報酬手数料	(0)	(0)	(0)	
(7) 新聞雑誌費	(50,000)	(0)	(△50,000)	
(8) 通信費	(800,000)	(504,370)	(△295,630)	名簿、会報、資料送料等
(9) 会議費	(200,000)	(66,730)	(△133,270)	理事会、幹事会等会議費
(10) 渉外費	(100,000)	(0)	(△100,000)	
(11) 備品費	(500,000)	(0)	(△500,000)	
(12) 慶弔費	(50,000)	(0)	(△50,000)	
(13) 雑費	(100,000)	(51,348)	(△48,652)	手数料等
2. 事業費	7,000,000	1,530,335	△5,469,665	奨学金、ホームカミングデー、ホームページコンテンツ作成費、プラズマテレビ寄贈(看護学部開設記念)等
3. 予備費	30,000,000	8,125,290	△21,874,710	校友会館整備(厨房用機器備品、電話配線工事、LAN配線工事等) 下記参照
4. 校友会館建設積立金	30,000,000	30,000,000	0	次年度繰越金内訳: 普通預金 35,725,983円 決済用定期 11,011,092円 郵便振替口座 408,360円 小口現金 535,026円
5. 次年度繰越金	8,154,204	47,680,461	39,526,257	
合計	81,404,204	91,484,418	10,080,214	

3. 各種積立金

積立年度	校友会館建設積立金	開学10周年記念事業積立金
平成13年度	70,000,000円	
平成14年度	30,000,000円	
平成15年度	30,000,000円	10,000,000円
平成16年度	40,000,000円	
平成17年度		
平成18年度	30,000,000円	
平成18年度支出	※1 △200,000,000円	※2 10,000,000円
合計	0円	10,000,000円

※1 校友会館建設のため
※2 決済用定期へ繰入(未執行につき)

投稿 私と仕事

一人でも多くのお客様に声をかけていただける営業スタッフになること。そして身体の不自由な方々が活躍できるように、福祉車両の普及活動にも努めたいです。

私は関西福祉大学を卒業後、出身地大阪の自動車ディーラーに勤めています。面接時などでよく聞かれたのは、「なぜ福祉系から車屋に？」という事です。それは在学中から、福祉車両などに興味があり、人との話も好きでしたので福祉車両に力を入れていたホンダ車を販売したいと思いい、現在の会社でお世話になっております。しかし、福祉車両の需要は全体の1%と少ないのが現状で、専門ではできていません。

現在の主な担当は、営業職として新車の販売やお車をご購入いただいたお客様への点検や車検のご案内を日々行っています。

1年前、現在の店へ転勤となり前担当からお客様を引き継ぎ、280名のお客様を守る責任を背負っています。日々の営業活動においては、名前を覚えていただくことが大切だと思います。そのためには、点検などでお客様が来店された際、お客様のご用命をただお伺いするだけではなく、お客様の表情をよく見て、

お話をよく聞いて、しっかりと受け止めた上で、プラスアルファ部分のご提案や確かなアドバイスをできればと心掛けています。それこそがお客様の満足や安心感につながると信じています。インターネットでモノが買えるこの時代、営業スタッフで最も重要なことは「お客様の顔を見てお話する」ということが必要不可欠であると確信しています。

今の目標は、一人でも多くのお客様に声をかけていただける営業スタッフになること。それが最終的に目標達成にもつながってくるからです。担当するお客様には何か車の事でお困りになられた時に、まず私にご相談いただけるように、少ないコミュニケーションの中でも印象に残せるようがんばります。そして、Honda Welfare理念「誰でも気持ちよく乗れるHondaへ。」を元に、身体の不自由な方々が活躍できる機会や場の拡大をサポートしていけるよう、福祉車両の普及活動にも日々努めています。

森 健一朗さん
2002年度卒業
株式会社 ホンダカーズ大阪
八尾志紀店



私にとつての仕事とは、「いろいろな人に感謝する気持ちを忘れないために必要なもの」だと思っています。

第一期生のみなさん、卒業生のみなさん、お元気ですか？全国でたくさん仲間たち、がんばっていますね！私は、大学4年間で大好きになった赤穂に永久就職し、なりたかった本場の「赤穂人」になりました！幸せいっぱいです！！

その赤穂から車で西に約25分。大学生のとき、フェリーで小豆島に行ったことはありませんか？あのフェリー乗り場がある「備前市日生町」が私の仕事場です。現在、備前市地域包括支援センター東サブセンターの社会福祉士として、毎日めいっぱい走り回っています。

地域包括支援センターは、いわば高齢者福祉の総合相談窓口。日々、高齢者に関するいろいろなご相談をいただきます。とは言っても、日生町は昔ながらの人間づきあいの残るとてもあたたかい町なので、どうしようもなく明日の生活に困るとか、命に関わる重大な問題になる前の、早い段階で情報が入ってきます。認知症の家族をどうすればいいのか、介護保険のことを教えてほしい、入

院して退院が近いが今までの生活ができるのか、一人暮らしをしている親のことが心配・・・。

ご本人やご家族からの相談のほか、ありがたいことに地域の民生委員さんや近所の人などから、「ちょっと気になる人がおるから訪問してみたい」と声をかけていただくこともあります。ご相談をいただくこと、話を聞き、訪問をし、必要に応じて家族や地域の人の、主治医の先生や専門職の方などと連携を取りながら、ご本人やご家族が少しでも安心した生活を送ることができるよう支援させてもらいます。ソーシャルワーカーと言えれば聞こえはいいですが、私一人でできることなんてたかが知れています。地域のことなら民生委員さん、病気のことなら主治医の先生、介護保険のことならケアマネージャーさん、在宅生活を支えるなら事業所の職員さん、地域住民の力が借りたいときは社会福祉協議会の方。たくさん強い味方に相談し、一緒に頭を悩ませ、泣いたり笑ったり叱られたりしながら、どうしていったら良い

かを考えます。こういったみなさんの力があって、私の仕事は成り立っています。ふと自分を見失いそうになったときには、支えてくださる方々に感謝をすること、「人と人とをつなぐ橋渡し役が私の仕事なんだ」という気持ちを思い出すようにしています。

私にとつての仕事とは、「いろいろな人に感謝する気持ちを忘れないために必要なもの」だと思っています。私は、現在は出向という形で仕事をしていますが、10月からは法人に帰ることが決まっています。今の時点ではどんな仕事をするかになるか分かりませんが、私の前向きパワーはどこに行っても変わりません。感謝を忘れず、信念をもって、与えられた仕事に取り組みもうと思っています。

最後に、赤穂は本当にいいところです。疲れたときはぜひ一度、赤穂に帰ってきてください。楽しかった大学時代にタイムスリップし、パワーが戻ってくることもまちがいないです！

島田 安里子さん
2000年度卒業
社会福祉法人敬友会 あおさぎ
岡山県備前市地域包括支援センター
東サブセンター (法人より出向)
社会福祉士



「日生ブロック民生委員・児童委員連絡協議会 久保田会長と」

平成19年度 人事異動		5月1日～9月30日		
	日付	所属	職名	氏名
採用	H19.7.1付	社会福祉学部	助手	藤原 慶二
			職員	三枝香奈子
		事務局	職員	川口 知保
			職員	谷山 由紀
退職	H19.7.31付	事務局	職員	河野美智子
			職員	平松ルミ子
			職員	安田 美穂
	H19.9.30付		副学長	高橋 照子

平成19年度

関西福祉大学校友会総会

のご案内

平成19年度校友会総会を以下のとおり開催いたします。当日は「汐風祭」も開催されます。是非、ご参加ください。

日時 平成19年10月28日(日) 14:00～
場所 校友会館2階
議題(予定) 平成18年度事業報告・決算報告
平成19年度事業計画・予算 他

第11回 ちょうふう さい 汐風祭 第4回 ホームカミングデー **開催!**

日時 平成19年10月27日(土)、28日(日) 10:00～(汐風祭開催イベントと並行実施)

場所 校友会館(地域センター北側)

今年度も卒業生の皆様が母校に集い、恩師や校友と語り、交流を深めていただく場として、「汐風祭」開催日をホームカミングデーとし、校友会館前に専用のブースを設け、皆様のお越しをお待ちしております。

来場者には喫茶タイムドリンク券、模擬店金券をプレゼント!!



関西福祉大学

KANSAI UNIVERSITY of SOCIAL WELFARE

校友会報 第10号

- 発行 平成19年10月1日
- 発行所 関西福祉大学 校友会
- 発行者 荒木美智雄
- 編集 校友会事務局

〒678-0255 兵庫県赤穂市新田380-3
TEL 0791-46-2525(大学代表)
TEL 0791-46-2847(校友会事務局)
FAX 0791-46-2615
E-mail koyukai@kusw.ac.jp
大学HP: <http://www.kusw.ac.jp/>
校友会HP: <http://www.kusw.ac.jp/kouyukai/index/index.html>

関西福祉大学ひとくちメモ

開学 平成9年(1997年)4月
学部学科 社会福祉学部 社会福祉学科 (平成9年4月)
看護学部 看護学科 (平成18年4月)

学長 荒木美智雄
教員数 専任 64名
職員数 48名
学生数 1,351名
卒業生数 7期累計 1,796名

社会福祉士合格者数 7期累計 606名
精神保健福祉士合格者数 7期累計 122名

敷地 59,674㎡
延床 19,745㎡

平成19年10月1日現在

原稿募集

- 校友会員の各種集い、部・サークルのOB会、ゼミ同窓会などの様子をお知らせください。
- 会員の皆様それぞれの仕事の内容や仕事上の悩み・喜びなど、1000字程度の原稿をお寄せください。
- 校友インタビュー・校友ネットワークに登場していただける校友を募っています。自薦、他薦を問いません。事務局までご連絡ください。
- 記事の雰囲気伝える写真、筆者の近影などがあれば添付してください。写真は発行後返却します。
- 原稿及び写真の採否は事務局に一任ください。
- 原稿の加筆、修正、削除などを願います。
- 校友会報の企画・編集に興味のある方は事務局までご連絡ください。
- その他、校友会へのご意見などもお寄せください。

(事務局)